

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.49 2025 年 3 月

No.
49

早春号



表紙：蔡 國華作品

My 空間 子ども イベント

2024 年の 12 月 24 日に開催しましたクリスマスイベントでは、クリスマスカード作りをしました。スタッフが準備した材料をもとに、思い思いに絵を描き、デコレーションをしました。個性溢れる素敵なオリジナルクリスマスカードとなりました。

クリロンワークショップ 野首 恵子



スロバキア だより

まるで兄弟?! スロバキア語とチェコ語

スロバキアで生活する中で主言語のスロバキア語に加えて、頻繁に目や耳にするのはチェコ語。大学での授業でもチェコ語の文献がいくつも混じっていて、チェコ人の教授はチェコ語で授業をしています。2つの言語はとても似ていますが、全く異なる単語や発音の違いもあり、『?』となることもしばしば。1918 年から 1992 年までチェコスロバキア共和国として一つの国であったこともあり、2つの言語の距離はとても近く、映画・アニメや本などを通して、小さい頃から互いの言語を自然と身につけていった人が大多数です。私もスロバキア語を勉強するときに、ついでにチェコ語の辞書を引いたり、チェコ語字幕で映画を観たりするようになりました。

クリロンワークショップ 小西 由夏



チェコ語

ドブリーデン
Dobry den

ナ スフレダノウ
Na shledanou



スロバキア語

ドブリーデン
Dobry den

ドヴィチェニア
Dovidenia

こんにちは

さようなら

デザイン：小西 由夏（クリロンワークショップ）

kurilon クリロン化成株式会社
kurilon.co.jp



KURILON Work Shop
kurilon.co.jp/management/communication



画空間 Art Space
a-kukan.com



My 空間 Studio
a-kukan.com/mykukan



伊久美 クリロンワークショップ
kurilon-ws.com/ikumi



栗原清一取締役会長が旭日単光章を受章

令和6年秋の叙勲にて、栗原清一取締役会長が旭日単光章を受章しました。
栗原会長が社長時代より当社で長年行っている人材経営・技術経営の内容や諸制度、それらの結果として会社の成長などの功績が評価され、今回の受章となりました。

受章の言葉

この度、叙勲の栄誉に浴しましたことは、皆さまの長年に亘る当社へのご愛顧によるものであり、厚く御礼申し上げます。
当社は機能性複合フィルムの特長を、独自技術による製造設備を創り、特殊樹脂を含む各種の樹脂を活用し、多くの五層フィルムを開発販売して参りました。今日、様々な分野で当社の五層製品が使用されるに至りましたことは、皆さまがよくご承知の通りです。
こうした「技術経営」を進める礎として、働く人々が互いにその能力を引き出す営みである「協働」を基軸とする、「人材経営」の道を五十年余り歩み続けて参りました。
能力発揮への様々な制度や働き方の改革の面も、次第に世に知られるに至りつつあります。



栗原清一
クリロン化成株式会社取締役会長

当社が目指し続けているこの方向は、企業のある一方の姿として社会的にも意義をもつものと考えております。若い世代を中心に、これからも技術経営と人材経営を強める努力を重ねていきます。
そうした当社に、皆さまの変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

第25回緑風会を終えて

緑風会は、勤続4年未満の社員が所属する親睦研修会です。所属するメンバーで実行委員会を結成し、自分たちで研修内容の考案と運営を行い今年で25回目を迎えます。今年は11名で実行委員会を結成し、北海道から福岡まで若手社員約40名が一堂に集まり、1泊2日大阪で実施しました。

研修テーマは、「協働」に焦点をあて「となり」のクリロンへ若手だけに訪れる不思議な出会い」と題し、自分たちの業務が、どのように他部署に繋がっていくのかを知る機会となりました。各部署の紹介やディスカッションを通して、各部署の責任、自身の役割を再確認すると共に、他部署業務への理解を深めることができました。またコミュニケーションにおける受け手を意識した働きかけや発信の仕方の工夫や大切さを実感し、よい気づきとなりました。

会長講話では、若手社員に求められる姿勢や振舞いについて、批判の身を判断し、正しい事を理性的に受け止める事や自身が思った事を率直に発言する事が大切であるということ、若手社員が先輩社員や上長に臆することなく意見発信することの重要性を改めて実感し、適切な振舞いを考えて一緒に協働できるチームを作り上げていきたいと思いました。各々が日々の業務で繰り返し実践し、鍛錬していきたいと思います。



△栗原 清一取締役会長による講話の様子

緑風会実行委員

2日目には、自社製品である「まいにちおいしい袋モフ」の勉強会を行いました。事前に各自でモフを使用し調理を行った上で、色々な視点からの意見やアイデアを交え、新しい活用方法を議論し、より製品理解を深める有意義な時間となりました。懇親会では皆でB B Qを行い、部署を跨ぎ親睦を深める機会になりました。
今回の研修を通し、メーカーの社員として、生産者であると同時に消費者であるということを意識する機会となりました。今後も製品がどのように使われ、どのような価値を提供するのか、実際に製品を使用し体感し考える姿勢が大事であるということを学びました。また協働能力を高める上でも受け手の視点を大事に自ら働きかけていきたいと思っています。

蔡 國華 作品展

—翔—
Seeking peace



画空間では、2024年12月9日から16日にかけて蔡國華作品展「翔—Seeking peace」が行われました。この作品展では、海辺を舞うカモメが1羽大きく描かれた画が目を引きました。シドニーの海辺ではこのような風景が日常だそうで、透明感のある美しい波とのびやかに舞うカモメ、年末寒さが増していく都内でものんびりとしたあたたかなシドニーの海風を感じられるような1枚でした。多くの方にご来場頂き、販売された2025年蔡國華アートカレンダーも大好評、皆様蔡先生と交流され賑わいある年内最後の展覧会となりました。

クリロンワークショップ

大塚 寿枝



△ご夫妻で

岡山工場竣工式

岡山工場の増改築工事が完成し2024年12月9日に竣工式を行いました。

工場の増築工事に携わっていただいた皆様へ感謝の気持ちで一杯です。

岡山工場の創業以来残っていた、スレート葺きの工場や倉庫は今回の工事で全て無くなり、少し寂しい気持ちもありますが、のどかな田園風景の中に斬新でおしゃれな事務所棟と工場の2棟が並んでおり、これからの第3の創業を進めていく当社に相応しく、完成した工場を見ると非常に感慨深いものがあります。

5月頃には内装工事も全て完了し、春には新工場でも製品を製造開始する予定です。
これからも皆様へ良い製品を届けられるよう新工場となつても今まで以上に頑張つていきます。



△完成した岡山新工場の外観

岡山製造課

伊久美
トークナイト

2024年12月20日

「伊久美トークナイト vol.1」がKWS伊久美にて開催されました。主催団体のヒューマンフロンティアフォーラム（HFF）は、2023年より開催地を上諏訪に移しフロンティア人材が集い勉強会を行なっています。「トークナイト」のイベントもその一環で諏訪地方の方に向けて企画されました。
ゲストの鎌田恭幸氏（鎌倉投信株式会社 代表取締役社長）を中心に、日本人が敬遠しがちな金融や投資を身近なものとして考える機会となりました。

伊久美トークナイトは今後も継続して実施される予定です。



△白熱する議論の様子

ヒューマン・フロンティア・フォーラム事務局
田口 真司